

平成29年7月5日 九州北部豪雨時の対応と 災害からの復興・出水期対策について



朝倉市の概要

- 市制施行 平成18年3月20日
甘木市、朝倉郡朝倉町・杷木町が合併し、「朝倉市」となる。
- 人口 53,568人
- 高齢化率 33.3%
- 世帯数 21,312世帯
- 面積 246.71 km²
(山林54.6%・田15.4%・畑8.1% 宅地6.7%)
- 地区コミュニティ 17地区
(平成30年9月末現在)



平成29年7月九州北部豪雨の概要（気象） 雨量の状況

○今回の豪雨では、平成24年7月の梅雨前線豪雨の雨量750mm（4日間）を上回る**774mmを9時間**で超えており、平成24年7月をはるかに凌ぐ豪雨となっている。
 ⇒観測史最大の記録である12時間雨量707mmを上回る雨量（東京都H25年10月16日）
 ⇒市の7月平均月間雨量の2倍を超える雨量

降雨の比較

	H29年7月 (北小路公民館)	H24年7月（松末小学校）		
		7/3～4	7/13～14	合計
累加雨量	774mm (9h)	325mm (2日)	425mm	750mm (4日)
最大24時間雨量	829mm	256mm	365mm	—
最大時間雨量	124mm/h	79mm/h	65mm/h	—

	H29年7月	H24年7月
累加雨量	774mm (9時間)	681mm (72時間)
平均雨量	86mm/h	9mm/h
最大時間雨量	124mm/h	94mm/h



気象情報と災害対策本部設置の状況



●気象情報（警報以上）

- ・7月5日 13:14 大雨洪水警報
- 14:10 土砂災害警戒情報
- 17:51 大雨特別警報（九州初）
- ・7月6日 14:10 大雨特別警報解除
- 大雨洪水警報
- ・7月8日 05:11 大雨洪水警報解除
-

（この後、警報等繰り返し）

●朝倉市災害対策本部

- ・7月5日 14:10 朝倉市災害警戒本部設置
- 14:15 避難所開設
(市内4か所→順次全域に開設)
- 14:26 避難勧告発令（市内全域）
朝倉市災害対策本部第1配備
- 15:30 避難指示発令（一部地域）
- 19:10 避難指示発令（市内全域）
- ・7月6日 07:00 朝倉市災害対策本部第3配備
- 10:00 朝倉市議会災害対策会議
- ・7月8日 13:00 避難勧告発令（市内全域）
- ・7月18日 14:00 朝倉市議会災害対策会議・・・
- ・8月28日 17:00 朝倉市災害対策本部第1配備
- ・9月17日 18:15 避難準備・高齢者避難開始解除
(高木、朝倉、宮野地区、杷木地域を除く。)
- ・H30年1月1日 0:00 朝倉市災害警戒本部へ移行



消防本部体制・応援隊の状況

【甘木・朝倉消防本部】

13:20 第1配備体制（幹部召集）
 14:12 第2配備体制（職員1/2召集）
 14:25 第3配備体制（全員召集）
 15:10 防災連携モード開始

【福岡県消防相互応援隊】 要請:7月5日23:55

(7月5日～8月4日:31日間)

・ 陸上隊 1034隊 3781人
 ・ 航空隊 11隊 52人 合計 1,045隊 3,833人

福岡県24消防本部 宿营地:甘木・朝倉消防本部庁舎・近隣消防本部

【緊急消防援助隊】 要請:7月6日0:00

(7月6日～7月25日:20日間)

・ 陸上隊 2,518隊 8,853人
 ・ 航空隊 44隊 313人 合計 2,562隊 9,166人

(出動県別)

指揮支援隊:岡山県、広島県、熊本県

県大隊 :広島県、長崎県、山口県、佐賀県、愛知県、熊本県

宿营地:(指揮支援隊)市役所・(県大隊)福岡県消防学校・日田市総合体育館

緊急消防援助隊の要請と動態

【要請時系列】

6日 0:00 緊急消防援助隊出動要請 福岡県知事⇒消防庁長官 ⇒各県

0:20 広島市消防局(指揮支援部隊長)へ出動の求め ⇒ 6:00福岡県庁
 岡山県(指揮支援隊)へ出動の求め ⇒ 8:09朝倉市役所

0:30 長崎県(大隊)へ出動の求め ⇒ 東峰村(7日)⇒朝倉市(8日)

1:15 広島県(大隊)へ出動の求め ⇒ 東峰村(7日)⇒朝倉市(9日)

1:40 山口県(大隊)へ出動の求め ⇒ 東峰村(7日)⇒朝倉市(9日)

9日12:35 大分県で活動の佐賀県隊、愛知県隊に対して福岡県へ部隊移動の求め(消防庁長官)

10日 佐賀県隊、愛知県隊 ⇒ 朝倉市で活動開始

17:00 熊本市指揮支援隊、熊本県大隊、高知県航空隊に対して福岡県へ部隊移動の求め(消防庁長官)

11日 熊本県隊 ⇒ 朝倉市で活動開始